

提出順	18	発言順	18	令和 3 年 8 月 25 日
				(午前) 午後 11 時 50 分受領

(2 枚中 No. /)

2021年 8月25日

安曇野市議会議員 召田 義人 様

安曇野市議会議員

白井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	新型コロナウイルス感染症対策		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

- 1 新型コロナウイルス感染症の安曇野市の感染者、医療の現状と対策はどのようになっているか。
- 2 新型コロナウイルス感染拡大にどのように対応していくのか。
 - (1) これまで経験したことのない感染急拡大に対して、感染抑止のためにこれまで市民が行っていたマスク、手洗い・手指消毒、3密を避けることやワクチン接種をさらに進めること以上の対策が必要と考えるが、どのように考えるか。
 - ①徹底した大規模検査を行い、無症状者を捉え、隔離保護する対策をとらない限りは収束させることはできず、新たな感染者を生み出し、命の危機が収まらないと考える。県に要請するとともに、市独自に取り組むべきではないか。
 - ②市民の命と健康を守る決意は。
 - (2) 医療体制の整備、必要な医療が受けられない状況をつくらないために、市としての県への要請や独自の取り組みについて、これまでの経過と今後の予定はどうか。
 - (3) 政府の「原則自宅療養」の方針の撤回を求めるべきではないか。

提出順	18	発言順	18	令和 3 年 8 月 25 日
				(午前) 午後 // 時 50 分受領

(2 枚中No.2)

2021年 8月25日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

白井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市内巡回バスを地域主導型のコミュニティー方式で		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

市の地域公共交通協議会部会の結論に対して

- 利用者数は、実際に対象地域の全地域住民を対象に、どのような頻度でどこを目的地に利用するかを聞き取って、より実態に即した数値を基に 計算をすべきではないか。
- 巡回バスの運行の進め方は、市と地域住民との協働の取り組みで進めるコミュニティー方式とし、巡回バスの必要性を強く訴える地域における運行を優先的に進める仕組みを構築すべきです。そして漸次全市的に巡回バスの運行を広げていくことで公平性が確保できるのではないか。
- 運行費用の試算は、巡回バスの運行を求める地域住民の意向をより正確に反映した運行路線、運行日、運行時間、便数、運賃、運行車両の種類、利用促進に向けた対策等を根拠に行なうべきではないか。
- 巡回バスとデマンドあづみんの運行を一体的に進めて交通空白を解消する方針を明確に すべきではないか。